

フューチャースクール推進事業 平成 23 年度第 1 学期の取組状況について

フューチャースクール推進事業によって整備された ICT 環境を活用した授業が、平成 22 年 10 月から実践されてきたが、平成 23 年度は 4 月からも継続的に活用されている。

そこで、10 校の小学校において 4 月から 8 月までの 1 学期に実践された授業の中から、協働教育に関係する場面があった授業の数を表 1 に示す。この表は、実践された教科の数を学年別に集計した結果で、右の欄にはその教科の合計、全体に対する割合（%）、昨年度の割合と比較した増減（%）を示している。また、下の欄には、学年ごとの合計とその割合（%）、昨年度の割合と比較した増減（%）を示している。

この表からわかるように、昨年度と比較して、算数における活用の割合が 11.2 ポイント増加しており、総合的な学習の時間での活用が 6 ポイント、生活における活用が 3.8 ポイント減少している。また、学年別に見ると、1 年での活用が 5.5 ポイント、2 年での活用が 4.9 ポイント増えており、3 年での活用が 4.6 ポイント減少している。

表 1 協働教育の場面があった授業の数（教科と学年別）

教科	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別	合計	割合 (%)	増減 (%)
算数	84	75	38	65	35	24		321	38.3	11.2
国語	67	57	26	43	11	11		215	25.6	1.3
総合的な学習	1	6	20	32	8	9		76	9.1	-6.0
理科			14	29	20	10	1	74	8.8	2.2
社会		1	3	16	23	12		55	6.6	1.4
外国語				1	17	5		23	2.7	1.0
道徳	2	2	6	3	2	2		17	2.0	0.2
生活	9	3		1			1	14	1.7	-3.8
特別活動					3	5	1	9	1.1	0.6
音楽	2		2			1		5	0.6	-0.4
家庭					3	1		4	0.5	-0.5
図工				2	1	1		4	0.5	-1.3
体育				2	1			3	0.4	-0.4
その他	1			8	6	4		19	2.3	-0.4
合計	166	144	109	202	130	85	3	839		
割合 (%)	19.8	17.2	13.0	24.1	15.5	10.1	0.4			
増減	5.5	4.9	-4.6	1.0	-2.3	-1.9	-0.1			

次に、協働教育の場面の数を学年別に示した表が表2である。この表から、「同じ問題について、学級全体で話し合う場面」と「一人が発表したことについて、学級全体で考える場面」が非常に多くなっていることがわかる。これに対して、「相互に教え合う場面」と「数名が協力したり助け合ったりする場面」、「数名が一緒に学び合う場面」、「数名で話し合う場面」が減少している。したがって、数名のグループによる活動から、タブレットPCと電子黒板を活用して、全体での話し合いや全体で考えさせる授業が多くなっていることがわかる。

表1 協働教育の場面があった授業の数（場面と学年別）

協働教育の場面	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別	合計	割合 (%)	増減 (%)
6. 同じ問題について、学級全体で話し合う場面	126	107	76	78	82	42		511	60.9	25.1
5. 一人が発表したことについて、学級全体で考える場面	125	96	68	105	74	32		500	59.6	26.3
1. 相互に教え合う場面	27	43	37	101	50	38	1	297	35.4	-21.7
3. 数名が協力したり助け合ったりする場面	19	31	27	55	49	29		210	25.0	-14.3
2. 数名が一緒に学び合う場面	15	29	17	39	47	20		167	19.9	-15.0
4. 数名で話し合う場面	4	17	11	31	29	28	2	122	14.5	-7.0
7. ネットワークを使って遠隔地と結んで学ぶ場面					1	2		3	0.4	-0.4
8. その他	2	1	1		8			12	1.4	0.9